

# 2024年教育カウンセリング・オンライン公開講演会 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

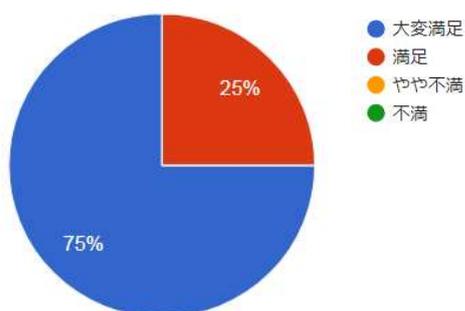
2024年7月15日（月） 13:30～16:30

公開講演会テーマ

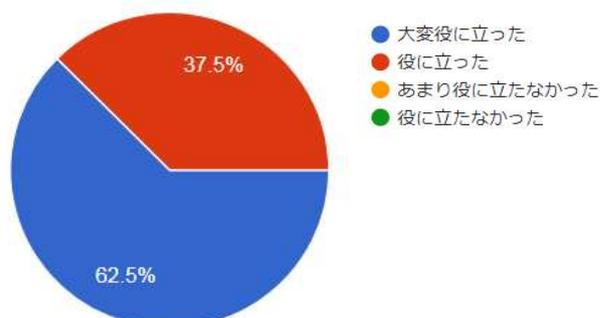
「不登校児童生徒と保護者への支援」

講師：伊藤 美奈子 先生（奈良女子大学大学院 教授）

## ① 講演会全般について（回答数16名分）



## ② 講演会の内容について（回答数16名分）



## ③ 講演会の内容についての感想

- ✿ 講師の先生の話し方や声がとても聞き取りやすく、安心してお話を伺うことができました。  
また、グループに分かれる前に、具体的な指示があったことと進行を事務局の方にしていただいたおかげで、とてもスムーズにお話できました。ありがとうございました。
- ✿ 不登校についての文科省の見解や世間の目の変化などの経緯が勉強になりました。実際の生徒や保護者とのかかわりについての先生の経験やお話から、特効薬のような解決策はないという難しさもわかりましたが、複数で見えて関わっていかうとすることが基本であると励まされました。難しさを率直に認めながらそれでも関わることの大切さが先生のお人柄からも伝わってきました。
- ✿ 不登校支援のリアルを教えていただき、共感の多い講演会でした。特に子どもの声や保護者の声が印象的でした。不登校支援に明確な正解はないけれども、その時々ベストを探して連携しながら丁寧に対応していくことが、大切なのだと再確認できました。

- ❁ 温かい笑顔の伊藤先生，ご講演本当にありがとうございました。

先生のはんやりした安心できる居心地のよい雰囲気はずっとベースになっていた講演会でした。先生のお姿からリーダーの立ち振る舞いについてたくさん学ぶことができました。また，文科省からフリースクールまで長く多方面で不登校に携わってこられた先生のお話を聞いて，さらに不登校への理解を深めることができました。さらに，安心だったからこそ短時間でポイントを絞った情報交換や本音トークができたのではと思いました。

機会がありましたら，今度は事例とともにお話をお伺いしたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ❁ ロープの話がありましたが，命綱にもなるし，見守る中での「大丈夫」という安心感を育てていくことが大切だと感じました。また，いろいろな校種および業種の方とそれぞれのお立場でのお話を聞く機会があり充実した3時間となりました。
- ❁ 不登校の問題はチームとなって行っていく必要だと改めて感じました。また，各学校での課題などを共有ができてとても参考になりました。ありがとうございました。
- ❁ 不登校について歴史や子どもと親の気持ち，支援の実際について，心理的な視点と調査研究の両面から具体的に紹介していただき，自分の不登校を捉える視野が広がりました。

不登校の子どもの気持ちを詩やエピソードを交えて頂いたのがとてもありがたかったです。子どもを見る際の発達の視点，多面的視点，長所発見的視点を示していただき，アセスメントの方針を立てる上で参考になりました。

グループディスカッションでは，多様な背景をもつ児童生徒だけでなく保護者との連携の方針や連携後の次の一歩を踏み出すことの大切さを改めて話し合い，その大切さを実感しました。ありがとうございました。
- ❁ 福祉の立場から不登校の子どもやその保護者と関わっています。が，どちらかと言えば保護者支援を担うことが多く，不登校の子ども自身の気持ちを聴く・知る機会は多くはありません。そのためか，子どものころに焦点をあてて考えていくことを疎かにしがちだったかもしれないと反省しました。

また，子どもからSOSを受け取った時に，適切な機関にそのサインを伝える力と関係性の構築力が必要だと感じました。
- ❁ 教職を退いて暫く経ちますので，実際に不登校の児童に対応はしていませんが，身近にその状態の子がいますのでなにかしら支援が出来ればと思ってこの講演会に参加しました。

不登校の子の心の状態，保護者への支援，チームでの支援と事例を挙げながらのお話に納得することしきりでした。現役の時ケース会議でアセスメントしても「次の一歩」が具体的で無かったと思いつきました。個々にまた地域によって環境も違っていますが，取り巻く人々，機関がその子の将来を信じて支援しあえば良いなと思いました。

学習の機会を与您いただき，ありがとうございました。
- ❁ 大変勉強になりました。

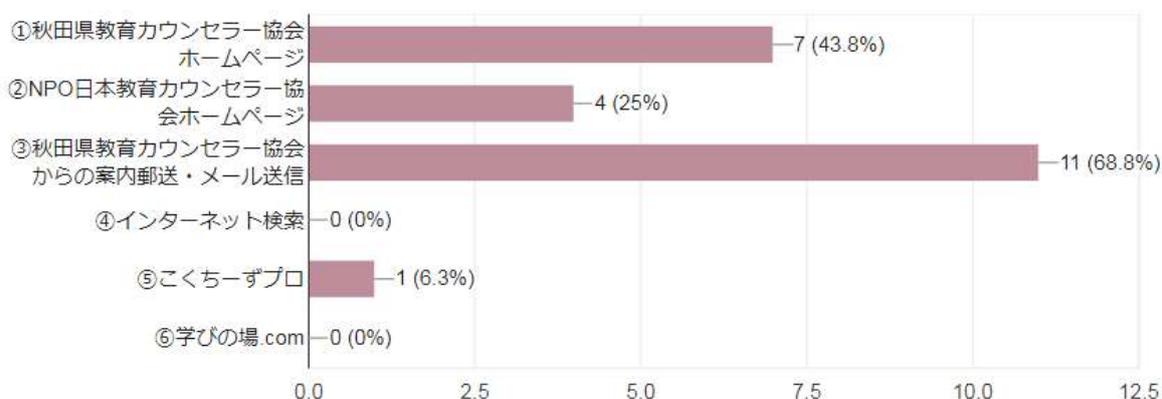
- ❁ 不登校の子どもの気持ちを知ることができたのでよかったです。
- ❁ 多職連携の大切さがわかりました。課題もある一方、今できていることもあるという話も出ていました。保護者へのエンパワメントが今後も重要になってくると思いました。
- ❁ 参加するまでは時間が長いのではと思っていましたが、あっという間に終わりました。  
本で読んだりするより、講演会は勉強になると改めて思いました。
- ❁ 児童生徒本人の意志決定支援や意思表示についてお話頂きたかったです。
- ❁ とてもわかり易く、ためになりました。チーム支援の重要性と難しさを実感しています。私は教諭ですが高校で教育相談コーディネーターをしています。市役所の子ども課や社会福祉課と連携して生徒や保護者の支援も行っています。外部とは連携して支援体制を作れるのですが、校内は担任主導のこれまでの当たり前の壁で連携がままなりません。外部から支援要請が来て、校内の生徒と繋がるようなケースもあります。どうやって校内連携を進めるか苦勞しています。内部の連携の進め方なども機会があったら話しをお伺いしたいです。

#### ④ オンライン開催に関するご意見やご要望について

- ❁ わかりやすく網羅された内容でした。
- ❁ 遠方から参加できてとてもありがたかったです。また、いろいろな立場の方との温かな交流ができるところが教育カウンセラーの良さだと思っています。グループディスカッションについて事前にメールで丁寧なご対応をいただき、感謝申し上げます。
- ❁ オンラインのよさは、遠くの方とも移動を伴わず対話できるリーズナブルな貴重な機会ととらえました。対面も大事ですが、オンラインのよさも事業の中に取り入れて全国の方と情報共有していけたらと思いました。スタッフの皆さん、お疲れ様でした。
- ❁ 午前中に用事がありましたが、無事に参加できました。移動の時間なく参加でき、オンラインでありがたく思いました。
- ❁ オンラインにさせていただいたので、県外の私も参加できました。
- ❁ オンラインだと遠方の方々も参加されることが多いので、他の地域の状況も知ることができていいと思います。反面、グループワークは対面の方が深まりやすいですね。
- ❁ ディスカッションは苦手ですし予定していませんでしたので、退室させていただきました。すみません。
- ❁ 特にありません。ご連絡遅くなり申し訳ありませんでした。

- ✿ オンラインで全国から学べる機会はとても貴重でありがたいです。次の企画も楽しみにしています。今回の後半にあったような意見交換など、学び合いの場なども（場合によっては講演はなくても話し合える場）開催していただけるとありがたいです。

◇ 今回のオンライン講演会を知ったきっかけについて（回答数16名分）（複数回答可）



◇ 今後受講したい講座のテーマや講師について

- ✿ 特別な支援を要する不登校の児童生徒へのアセスメントと支援の方法
- ✿ メディア視聴による弊害を抱えた子と発達障害をもつ子との鑑別，メディア視聴の弊害の克服指導のアプローチの具体。どのような面接指導をしたらよいか具体的な声かけや面接の流れを知りたいです。難しい注文ですみません。今，一番の関心事なので。
- ✿ 個に応じたアセスメントについて詳しい先生（現場の方が困っているようでした。）
- ✿ 不登校や校内連携，教職員の意識改革など学校づくり
- ✿ 養成講座を楽しみにしております。

——— 公開講演会に参加された皆様，アンケートへのご協力をありがとうございました。  
秋田県教育カウンセラー協会では，皆様方のご期待にお応えできるよう，さらに努力してまいりますので，今後ともご支援，ご協力のほどよろしくお願いいたします。

